

発行所 東京都防衛協会
〒162-0844
東京都新宿区市谷八幡町13番地
東京洋服会館9階
TEL: 03-6280-8427
FAX: 03-6280-8427
e-mail: info@tda.tokyo
HP: www.tda.tokyo



東京都防衛協会会報

第16号 (令和2年(2020年)4月1日)

○東京都防衛協会は、区市町村の民間の有志で構成されている地区協会を中心に、昭和41年3月に結成された任意の団体です。
○「自分の国は自分で守る」の気概をもって、広く都民の間に防衛意識の普及高揚を図るとともに自衛隊を激励支援してその充実発展に寄与するような広範な活動を続けています。

会勢拡大・地区協会と自衛隊部隊との連携強化を推進

第55回定期総会の審議案件
理事会に代えて書面決議は初めて

新型コロナウイルス感染症防止に配慮

東京都防衛協会(会長 佃 和夫)は、新型コロナウイルス感染症防止に配慮し、3月12日に予定していた理事会を中止しました。

このため、5月28日(木)に予定している第55回定期総会に上程する審議案件 ①令和元年度事業報告及び②同収支決算書、③令和2年度事業計画(案)及び④同収支予算書(案)、⑤役員人事(案)を理事会資料として各理事に送付し、各理事からの「議決権行使書・委任状」の提出を受けて議決することになりました。

防衛協会が設立・入会したこと、一部の特別会員の退会・減額等があったものの、当協会の活動に賛同して多くの特別会員が入会したこと及び既入会の特別会員による多額の寄付により財政面での改善に寄与したこと等を記述しています。

⑤議案では、理事の改選(2年度は理事の改選年度)案について記述しています。

③及び④議案では、2年度も各地区協会と連携して引き続き会勢拡大に努力すること、都内各地区を担当する自衛隊部隊及び東京地本事務所等と地区協会の連携強化に努め、厳しい自衛官募集に協力すること、当協会及び自衛隊の実施する各種行事等を地区協会・特別

①及び②議案では、元年度の活動成果、特に各地区防衛協会の積極的活動と協力により、各地区協会等が積極的に防衛講演会・講話を開催したこと、自衛隊の募集業務に

協力したこと、当協会及び自衛隊の実施する行事等に多くの会員等が積極的に参加し、部隊・隊員を激励・支援したこと、また、会勢拡大強化の成果として、新たに新宿区

も240日に及ぶ合宿でのハードワークを経て、苦業を共にしたからこそ「家族」になった、「ワンチーム」になれたと語っており、その中でも「和」が印象に残ったこと、合宿中には選手とコーチ陣の対立も

「ニケーション」あつての「ワンチーム」だったのです。簡単にでき上がるものではないと語っています。つまり「和」をもって貴しとす。聖徳太子の十七条憲法の冒頭の言葉として有名な「和」というこの言葉は、日本人の精神を表す言葉としてよく引用さ



も240日に及ぶ合宿でのハードワークを経て、苦業を共にしたからこそ「家族」になった、「ワンチーム」になれたと語っており、その中でも「和」が印象に残ったこと、合宿中には選手とコーチ陣の対立も

「ニケーション」あつての「ワンチーム」だったのです。簡単にでき上がるものではないと語っています。つまり「和」をもって貴しとす。聖徳太子の十七条憲法の冒頭の言葉として有名な「和」というこの言葉は、日本人の精神を表す言葉としてよく引用さ

「和」というものをただ単に、争いを避け、他に迎合することと捉えている方が多いような気がします。この「和」という言葉をもう少しひもとくと、「君子は和して小人は同じて和

防衛サロン

桜戦士の神髄

理事長 武内誠一

春、桜の季節です。昨年の秋ラグビーのW杯において、アイルランド、スコットランド等を破り初めてベスト8に入った日本代表たちの胸に咲いていたのも桜でした。その躍進の原動力となったのは、昨年の新語・流行語大賞にもなった「ワンチーム」であると、選手やコーチ陣もコメントしておりました。同時に「簡単にワンチームと口にしてほしくない」とも話しておりました。

彼らは、家族、仕事、自分の夢など全てを犠牲にして、W杯の年だけで

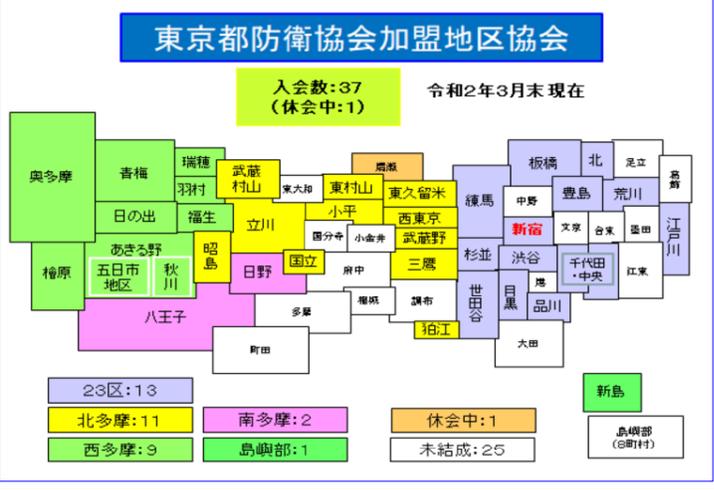
あり、また選手同士のずれ違いもあった。しかし、その都度話し合いを重ね乗り越えていったそうです。「コミュニケーション」が本場に大事だったと述懐しておりました。「厳しい訓練」と「コミュ

ニケーション」あつての「ワンチーム」だったのです。簡単にでき上がるものではないと語っています。つまり「和」をもって貴しとす。聖徳太子の十七条憲法の冒頭の言葉として有名な「和」というこの言葉は、日本人の精神を表す言葉としてよく引用さ

れま。しかし、この「和」を實踐していただくには、相手とよく理解し互いの相違を認めあうためには、生まれた国も育った環境も文化も違う選手・コーチたちが互いに理解し認めあうことが重要です。正に「ダイバーシティ

新宿区防衛協会の入会を心から歓迎します!

令和2年2月5日付で、新宿区防衛協会が東京都防衛協会に入会しました。会長に大家章嘉氏、事務局長に樋山真一氏が就任しました。
我が国の防衛・安全保障の中核である防衛省・自衛隊が所在する新宿区に防衛協会が発足したことは誠に意義深く、入会を心から歓迎いたします。



東京都防衛協会会報 編集要領変更のお知らせ

平成28年7月に東京都防衛協会会報第1号を発行して以降号数を重ね、令和元年1月には第15号を発行することができました。この間の会員各位の温かいご支援・ご協力に厚く感謝申し上げます。さて、当防衛協会の財政状況の改善に寄与するため、今回の第16号から会報の編集要領を変更させていただくこととなりました。紙面数が減少しますが、皆様に喜んで読んでいただけるよう内容の充実に努力してまいりますので今後とも温かいご支援・ご協力を賜りますようお願いいたします。

会報担当 渡邊元旦

東京都事務局からのお知らせ

令和2年度富士総合火力演習

○ 新型コロナウイルスの感染が拡大する中、防衛省は、令和2年度の富士総合火力演習の詳細について、3月中旬に公表する予定としています。

○ 演習の詳細が明らかになりましたら、東京都防衛協会ホームページ等でお知らせします。

HPアドレス : www.tda.tokyo

第1師団・練馬駐屯創立記念行事中止

○ 4月12日(日)に予定していた行事は中止になりましたのでご注意ください。

隊員及び家族の皆様の遺言アドバイザー

柴田 純一 行政書士 (遺言・相続 専門)

遺言書がなく揉める相続。揉めたら全員が敗者です。勝者は一人もいません。あなたの遺言書があなたの家族を守ります。「遺言書」づくりをサポート致します。

遺言書は、あなたと家族の絆の証明書!!

行政書士 柴田法務会計事務所
〒173-0035 東京都板橋区大谷口2-24-13 受付時間/10:00~18:00
TEL 03-6780-1408 FAX 03-6780-1409
E-mail/info@yuigonsyo.biz http://www.yuigonsyo.biz/

明治記念館

婚礼・宴会のご用命をお待ち申し上げます
法人営業部 担当 武本 茂 (陸OB 防大27期)
TEL: 03-3746-7711 Mobile: 080-2384-9560
E-mail: s.takemoto@meijikinenkan.gr.jp

相続・事業承継 対策と税務申告

税理士・事業承継士 秋田 耕治郎

「命の糧」を繋ぐお手伝い
相続も事業承継も早めの準備が重要です。私たちは、皆様の大切な想いと財産を未来へと繋ぐお手伝いをさせていただきます。真心と感謝と祈りを込めて。

秋田会計事務所 | 相続支援センター
〒101-0061 東京都千代田区三崎町3-2-16 三弘ビル3F
TEL 03-3263-3458 FAX 03-3263-3459
E-mail: akita@tkcnf.or.jp URL: http://www.akita-kaikai.jp

協賛広告有難うございます!

東京2020オリ・パラ見据えて 関係機関と連携を強化

1月29日、幕張メッセ、千葉県救急医療センター、津田沼浄化センターにおいて行われた千葉県国民保護共同実動訓練に師団司令部、第1普通科連隊、第1後方支援連隊、第1飛行隊が参加した。

本訓練は、東京2020オリ・パラ競技会を見据え、開催会場での実動機関の初動対処能力の向上及び関係機関との連携の強化を図る目的で行われた。そのなかで、師団司令部は、現地調整所における活動全般の調整を、第1後方支援連隊は、トリアージと患者の応急救護及び患者輸送を、第1飛行隊は、救急センターへUH-1をもって患者空輸を、第1普通科連隊は、警察と連携して施設内から非難した民間人の輸送警護を行った。



輸送警護訓練をする1普通

私たちの誇り 動く自衛隊!

各部隊は現地連絡調整所において関係機関と積極的に調整を行い、東京2020オリ・パラに向けた準備を着々と進めている。

活動最前線!

地区防衛協会コーナー

奥多摩町

奥多摩町防衛協会では一昨年度より町内視察を始め賛助会員の「奥多摩工業(株)・天祖山採掘場」を視察した。日原奥山の渓谷美と採掘場の規模の大きさに驚嘆し知見を得ました。今年度町内視察は台風19号の影響によりやむなく中止としました。

今回の台風19号は奥多摩町においても各所で土砂流出、河川洗堀・道路崩壊、断水、停電等をも



日原街道 洗堀・崩壊

また自衛隊第1師団に於かれては災害派遣出動で古里小学校校庭に温泉「練馬の湯」を設置し大変喜ばれました。一住民としても感謝を申し上げる次第であります。今後益々防衛防衛の意

第5回室内楽演奏会

第1音楽隊は1月24日、光が丘IMAホール(練馬区)において第5回室内楽演奏会を実施した。

室内楽とは小編成での重奏であり、本演奏会は10組による演奏が行われた。

普段聴くことのできないパートごとに分かれた演奏や、小編成の多重奏に、会場に集まった大勢の観客は大きな拍手を送っていた。

特に第2部で演奏された打楽器5重奏「Hears Up!」は、自作の楽器を使用して演奏するほか、観客席まで隊員が移動して間近で演奏する等、一体感を感じさせる楽しい演出となった。



打楽器5重奏

1普通連・1特合同チーム 記録会制す

第1施設大隊は1月20日から24日の間、荒川河川敷において「令和元年度大隊漕舟競技会及び施設合同訓練記録会」を実施した。

本競技会と記録会は、第1施設大隊及び各部隊の施設隊員の渡河作業、

特に漕舟練度の向上を図るとともに、各部隊・中隊の団結の強化及び隊員の士気の高揚を図ることを目的として、施設大隊の中隊(4コ中隊)対抗で行われる第1施設大隊の部と、第1普通科連隊と第1特科連隊の合同チーム

練馬区

会長 石田芳英

識啓発は大事となりますが、「和と絆」を大事に「Spirits」となり防衛協会活動に力を入れて参りたいと存じます。

昨年5月1日に天皇陛下が即位され、元号が令和となり、10月の22日は即位礼正殿の儀が執り行われました。

祝意の元、諸外国の賓客が大勢日本を訪れました。その方々を国として迎え、自衛隊の儀仗隊が関兵を受ける時や祝砲を放つとき、日本が国威をあげて即位礼正殿の儀を行われていることを強く感じ取れました。その国事行為の一端を自衛隊が担っていることに敬意を表するものであります。また、新しい時代令和に

なりましたことから、新しい時代の防衛協会とはどのようなありかきかを考えなければなりません。

昭和37年に練馬区防衛協会が生まれたときは、自衛隊又はその関係者に請われて創立し、事務も自衛隊内で長年行われてまいりました。しかし近年は、コンプライアンスの名の元、会の運営には直接関与しない方向性が打ち出され、防衛協会としても支援の在り方をどうのようにするべきかを、しっかりと整理をする時代なのかもしれません。長い歴史を持つ防衛協会と近年創立された防衛協会とでは、事務の在り方も会の進め方も違うのだと思います。

今年、生まれ変わる練馬区防衛協会として駒を進めたいと思っております。ご支援のほどお願いします。

荒川区

会長 村上悦栄

1月20日(月)自衛隊荒川区協力会(荒川区防衛協会)では新年防衛講話研修を開催しました。

例年年末の12月に開催していましたが、昨年は台風19号、21号による災害派遣やその他諸般の事情により一カ月延期して開催することとなりました。

講師は小倉第1普通科連隊長。連隊長は昨年8月に着任されましたので、参加者の多くは初めて会という事で自己紹介から始まり略歴も話されました。

講話は「我が国を取り巻く安全保障環境」、「30大綱に基づく陸上自衛隊の取り組み」そして

「第1普通科連隊の取り組み」等でありました。簡潔に説明戴けたので理解しやすい内容でした。会員からも「大変参考になった」、「世界は色々な危機が進行している」、「ニュースだけでは分からないことが理解できた」等々の意見が聞かれ、大変有意義な講話であったと感じました。尚、当会では年2回の講話と1回の部隊視察には会員の希望を聞き実施しています。次回講話は5月18日開催します。

会長 片岡正光

地本コーナー

本部長がラジオで自衛隊をPR

自衛隊東京地方協力本部 本部長 岸良知樹陸将補は1月8日、東京都江東区のコミュニティラジオ局レイボータウンFMの「大江戸ワイドスーパードニング」に出演した。

冒頭、昨年の台風被害に伴い自衛隊が実施した災害対応の内容を紹介するとともに、被災された方々へのお見舞いを述べた後、現在、本部長として勤務している東京地方協力本部の任務等について紹介した。

また、これまでの自衛隊勤務において印象に残っている事項として、東日本大震災を含む10回の災害派遣を挙げ、指揮官として活動した際は、「全ては被災者のために」という意識の下、懸命に活動する部下隊員を誇りに思うとともに、一番嬉しいのは、地域の皆様からの感謝の言葉であると述べた。

次いで、自衛隊の人材育成について、職域が幅広いことや教育が充実していること、給与、処遇について解説した。

最後に保護者に向けたサポート態勢について案内するとともに、自衛官募集ホームページ等を紹介し、最寄りの募集事務所等への来所を呼びかけ締めくくった。



優勝した1普通連・1特合同チーム



師団 Twitter 師団 FB

成人の日に市街地広報

自衛隊東京地方協力本部練馬地域事務所(所長 森田3陸尉)は1月13日、豊島園駅前広場において市街地広報を実施した。

当日は、練馬区のレジャー施設「としまえん」において、「練馬区成人の日」のついでに開催されたため、会場最寄りの豊島園駅を利用する新成人やその家族等に、2、3月の自衛官候補生試験日程を掲載したチラシを配布した。

広報官の声掛けに足を止めた自衛隊幹部候補生の受験を希望する新成人や子供を自衛隊に入れたいという保護者等は、採用試験の詳細について真剣に耳を傾け、多くの方が自衛隊イベント等に関心を示していた。

成人のついでに制服姿で参加した防衛大学の2年生は、広報官を見つけると「広報活動頑張ってください」と挨拶し、現地で本部長から祝福の言葉を掛けられる場面もあった。

練馬地域事務所では今後も防衛省・自衛隊の活動について理解を深めてもらうため、地域に密着した広報活動を実施し、募集業務に繋がっていくとされている。

募集相談員と共にお祝い

自衛隊東京地方協力本部五反田募集案内所(所長 小澤1陸尉)は1月13日、品川区の大井町駅前において自衛隊東京地方協力本部募集相談員連絡協議会品川支部(以下「募集相談員」と)と共に、「募集相談員」と共に、市街地広報を実施した。

体験型の訓練で防災意識を向上 「外国人のための防災訓練」に広報ブースを出展

自衛隊東京地方協力本部(本部長 岸良陸将補)は1月28日、東京都調布市武蔵の森総合スポーツプラザにおいて実施された「外国人のための防災訓練」において、東京都生活文化局からの依頼により広報ブースを開設した。展示エリアには東京地本のほか、東京消防庁や警視庁調布警察署等あわせて24個のブースが並んだ。

災害時に必要な生活用品等を身の周りのもので作る場面では、ネクタイや手拭いで止血する方法、懐中電灯とレジ袋で作るランタン等を展示した。ビニールシートと新聞紙で寝袋を作るコーナーでは、実際に中に入って寝心地を確かめる参加者もいて「とても暖かい。このシートは普通のお店で手に入るようなレジャーシートでも良いですか」等の質問もあった。

れたため、五反田募集案内所の広報官と募集相談員らは往來する多数の新成人やその家族等にお祝いの言葉をかけながら2月に実施する自衛官候補生採用試験の日程や職業説明会の案内を差し込んだポケットティッシュを手渡した。

五反田募集案内所の活動に協力した10名の募集相談員らは、新たに作成したお揃いの帽子を参加者全員が着用し、新成人等に積極的に声を掛け、例年を上回る数のチラシを配布し、新成人の保護者から「苦労様です。頑張ってください」等、労いの言葉をかけられる場面もあった。

(東京地方協力本部)



訓練に参加する外国人等



募集相談員と共に成人をお祝い



地本 Twitter